

10月17日(土)に近鉄特急に乗車した時の備忘です。

自分が乗車した「のぞみ」号は7時34分に名古屋到着。急いで近鉄乗り場へ向かったが最初に見れたかもの松阪発名古屋行き(7時27分名古屋到着)はホームに居なかったので急遽米野駅まで往復する事にした。実は近鉄名古屋駅に入る?ために最低区間の運賃の乗車券を買っていた。名古屋発7時51分の各駅停車に乗り12200系4両+22600系2両が止まっているのを見た。

米野駅ではとんぼ返りして名古屋へ戻る事にする。幸いにも上り列車は直ぐにやってきた。3分か4分しか米野駅にいなかった事になる。米野駅発7時56分の各駅停車に乗り名古屋駅へ戻る。近鉄の駅は構内に踏切設置の駅が多く、米野駅もそうだった。安価にバリアフリーにできるのは事実だが、高速走行には向かないのでは。

8時23分に名古屋へ到着した12200系4両が賢島からの49編成だった。

先ほど米野駅で見かけた12200系4両+22600系2両(この12200系4両が51編成である事を確認したのは名古屋駅ホーム)が8時50分の鳥羽行きになったのを見届けて、さらに9時10分の賢島行き(形式は忘れた、時刻表からビスタカーと判明)を見て一旦近鉄名古屋駅を離れる。

天気予報を見て西側の方がまだマシのようだったので三重県方面ではなく大阪方面へ向かう事にした。近鉄名古屋駅には12時10分前に戻った。暫くしたら12時30分の難波行きが入線したが鳥羽からの折り返しの51編成かを確認してから特急券をネットで、乗車券を自動券売機で購入。シートマップから3両目(正確には難波側に2両編成の22600系が連結しているので5両目)のモ12131の進行方向右側の席を購入した。乗車中(走行中)、椅子の揺れる音が気になった。前回乗車した34編成ではそんな事なかったが。

道中の富吉検車区にPS22の12200系が2編成が止まっていた。進行方向右側の席に座っていたので容易に確認できた。

難波では3番線に到着、隣の2番線に「ひのとり」がいたのに気付かずシャッターチャンス逃した。丁度新旧のご対面だったのに。難波駅では折り返し時間が慌ただしく、乗車券の購入、特急券の購入、飲み物の購入、自分が乗る15時30分発名古屋行きの前の賢島行き(汎用形特急車両で12400、12410、12600系のどれかと思う、ビスタカーではなかった覚えが。)を1番線で見物、で終わってしまった。上本町発着分は見れないがかなりの頻度で特急列車が二本のホームに発着するので見ているぶんには嬉しい。出発が2番線、到着が3番線、を基本としているようだ。名古屋への帰りの特急券は難波駅の券売機で購入したら席を指定できずに発券されてしまった。電動車(モ)は往路で51編成の中間車に、前回(10月4日)の桑名から名古屋への34編成で先頭車のモ12234に、乗車済みだったので、電動車は全て乗車したから、制御車(ク)か付随車(サ)が希望で3両目のサ12031に乗りたかったのだが、少し残念だけど1両目のク12351になった。座席は幸運にも希望の進行方向右側だった。ただし元喫煙車だけあって「匂い」は否定できず(これが3両目のサ12031に乗車したかった理由)、さらにポマードの匂いが途中から乗車してきた乗客からしたので少し辟易した。走行中はコンプレッサーの音が懐かしさを感じさせる。

道中の高安検車区で赤幕の12200系2両を1編成見かけて伊勢中川の短絡線を走行中に送り込み元不明(富吉検車区に止まっていた2編成のうちの1編成だろう)の名古屋15時50分発の12200系4両+???系4両(おそらく12400、12410、12600系のどれか、18日のツイッターの撮影記録を参考にした。)の鳥羽行きを見かけた。あちらはちょうど伊勢中川駅到着間際だった。名

古屋側に 12200 系 4 両を連結していた。のちに分かったのだがこれが 56 編成だった。ちなみに高安検車区も伊勢中川での名古屋線走行中の 12200 系も進行方向右側の席に座っていたので容易に確認できた。

自分は当初の予定通り白子駅で下車、2 分から 3 分遅れて 17 時 10 分到着(定刻だと 17 時 8 分)。ここで名古屋 16 時 50 分発の鳥羽行きが、17 時 29 分に到着するのを待つ。この白子駅でないと、この鳥羽行きを見れない事は無線 LAN が無料だったリニア・鉄道博物館で調べて分かっていた。白子駅でも無線 LAN が使えたのだが、全部は知らないが、近鉄は主要駅だと無線 LAN が使えるようだ。少なくとも松阪駅と白子駅は大丈夫だった。あとは桑名駅が、難波駅が未確認。名古屋駅は当然使えた。待っている間、次の名古屋行きアーバンライナーの特急券をネットで購入。名古屋 16 時 50 分発の鳥羽行きが 49 編成である事を確認して、一旦駅を出て赤福を橋上駅舎内のショップで地域共通クーポンを利用して購入した。白子駅の駅員さんは一瞬の途中下車を認めてくれたのだ。白子駅から 17 時 36 分発のアーバンライナーに乗車する。往路はあまり気にならなかったが復路はこの白子駅を筆頭に沿線で撮影している人をかなり見かけた。アーバンライナーの特急券はネットのシートマップから購入したがアーバンライナーは先頭車両は展望席と間違え、最後尾の席を購入したが、隣の人がいるのも気まずいので一つズレて着席した。車掌さんには事情を話したら特段問題なさそうな対応だった。

まもなく名古屋側のひとつ手前の米野駅、留置線に 12200 系が居たかは記憶が無い。名古屋に到着したのが 18 時 20 分。名古屋駅での 12200 系の見物を始めたが予想以上に見ることができた。

その 1)

18 時 39 分に 50 編成が珍しく 5 番線に入線。鳥羽行きだ。通常、鳥羽行きは 4 番線に入線する。小学校 3 年生位の子供に「こんにちは。今日は JR をメインにしたのですが、近鉄も(以下省略)」と声掛けられた。付き添いのお父さんはそんなに鉄道に興味がある様子ではなかったが。この 12200 系 50 編成よりもお父さんの方が若いかもしれない。

その 2)

18 時 45 分に出発したのが送り込み不明の鳥羽行き 50 編成(富吉検車区に止まっていた 2 編成のうちの 1 編成だろう)。ここで動画を撮ったが発車メロディーを入れ忘れた。これが唯一の後悔か?

その 3)

19 時 20 分に到着したのが伊勢中川で見かけた、鳥羽へ往復した帰路の 56 編成 12200 系 4 両 + ??? 系 4 両(おそらく 12400、12410、12600 系のどれか、18 日のツイッターの撮影記録を参考にした。)

その 4)

19 時 45 分に出発したのが自分が難波から乗った、折り返しで賢島行きの 51 編成 12200 系 4 両 + 22600 系 2 両。ここで動画を撮ったが発車メロディーを、今度こそはと入れた。9 月 22 日(火、祝)はこの列車が 12200 系の 4 両編成だった。

その 5)

20 時 15 分に出発したのが鳥羽からの折り返し松阪行き 56 編成。

その 6)

20 時 20 分に到着したのが今朝名古屋駅で見かけ、夕方白子駅で見かけた、鳥羽を往復した、鳥羽からの 49 編成。

その 7)

20 時 52 分に到着したのが難波からの 34 編成。

その 8)

21 時 30 分に出発したのが難波からの折り返しで難波行き 34 編成。

12200 系の見物が終わり前回の 10 月 4 日とは異なり、ひかり号ではなくのぞみ号に乗車。ひかり号は途中駅停車中に自分が乗車したのぞみ号に追い抜かれるため、多少(東京駅到着時刻で 12 分違う)は帰宅が早くできた。昼から夕方までビールばかり飲んでいたので、その上で、スマホのゲームをしたので、東海道新幹線の車内は多少気持ち悪くて何も口にできなかった。

「結果」

4 両編成は稼働中の 6 編成のうち 5 編成を見れたのか。

- ・ 34 編成難波からの名古屋 2 往復(4 両)
- ・ 49 編成朝、賢島から名古屋へ、鳥羽往復と賢島往復(4 両)
- ・ 50 編成名古屋から鳥羽往復(4 両)
- ・ 51 編成朝、松阪から名古屋へ、鳥羽往復と難波往復、最後は賢島へ(4+2 両、22600 系)
- ・ 56 編成名古屋から鳥羽往復、最後は松阪へ

(4+4 両、12400、12410、12600 系のどれか、18 日のツイッターの撮影記録より。)

見れなかったのは 39 編成のみ。しかも名古屋駅では 3 時間くらいの間で 30 分おき位に見る事ができたのか。唯一不満といえばこれだけあったのに 12200 系どおしの並びがなかった。ま、これは仕方ない。

これだけ見れたイコール全般的に特急車両は予備があまりないんじゃない? 前回(10 月 4 日)は 12200 系が検査に入っていた? あと難波を 12 時 30 分に出て名古屋まで 2 往復する行程はハードだなあ。走行距離がかなりあるぞ。

それにしても前回(10 月 4 日)とは大違いだわ。昼間は桑名の少し手前ですれ違いの 12200 系を 1 編成見れただけ。この 1 編成は名古屋到着後、回送になりその後の運用がなかったようだ。「しまかせ」で名古屋駅に到着したのが 17 時 48 分前頃だったが、それからは難波行き最終にあてがわれた 34 編成しか見れなかった。

朝方に名古屋駅で見かけた自分と同年位の人が夕方から夜にも名古屋駅にいた。振る舞いが少し落ち着かないと言うか、、、鉄オタらしいのかも。リニア・鉄道博物館で自分とほぼ同時に入場し、ほぼ同時に退場した人が難波から名古屋への帰路の特急列車に乗車していて、自分の近くに着席していた。この人は博物館への入場の際、身体障害者手帳らしきを見せていた。

以上